PRESS RELEASE
2020年9月

中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

聖徳太子 ―時空をつなぐものがたり―

聖徳太子像・聖徳太子絵伝 修理完成記念 特別展

2020年10月31日(土)～12月13日(日)

５年の修理を経て、より魅力をました作品を初公開

中之島香雪美術館は、2020年10月31日(土)から12月13日(日)まで、「聖徳太子―時空をつなぐものがたり― 聖徳太子像・聖徳太子絵伝 修理完成記念 特別展」を開催します。

日本の礎を築いた優れた政治家として、また、日本仏教の黎明を導いた開祖として、幅広い人々から敬愛されてきた聖徳太子。最も有名な日本人と言っても過言ではありません。ただ、その人間像については現在も多くの議論があり、その謎がなおさら人々を惹きつけています。

本展では、香雪美術館所蔵の太子にまつわる作品の多くを初公開します。主役は、修理を終えたばかりの重要文化財≪聖徳太子像≫と≪聖徳太子絵伝≫の2点です。たくさんの発見と成果をもたらした修理の全貌を、関連の深い作品とともに、3つのものがたりに乗せて紹介いたします。

本展は、日本博主催・共催型プロジェクト
「我が国の美術工芸品等修理の技と自然の原材料を活かした伝承と活用
―国宝重要文化財(美術工芸品)保存修理成果の現地公開―」の一環です。

３つのものがたりをクローズアップ

１つめのものがたり　太子の伝記

時とともに変貌を遂げていく太子の伝記、その様子をたどります。

1 聖徳太子像（鎌倉時代 13世紀）
香雪美術館

太子２歳のときのこと、合掌して「南無仏（なむぶつ）」と唱えた、という伝説をもとにつくられた木彫像です。すっくと立ち、眉をひそめた険しい表情は、いわゆる子どもの顔つきではありません。

2 重要文化財　聖徳太子絵伝（部分）（鎌倉時代 14世紀）
茨城 上宮寺　　展示期間：この場面は 12 月 1 日～ 12 月 13 日
写真提供：茨城県立歴史館

太子の伝記をヴィジュアルに描き出した「絵伝」は掛軸が多く、この作品のような絵巻は稀少です。本展では絵巻の太子絵伝が大集合しますが、なかでも鎌倉時代にさかのぼる貴重な１点が本作。この場面は、太子が愛馬の黒駒（くろこま）に乗って、富士山に登頂するというエピソードを描きます。黒駒は虚空を駆けています。

3 重要文化財　細字法華経（平安時代 11 世紀）大阪 四天王寺

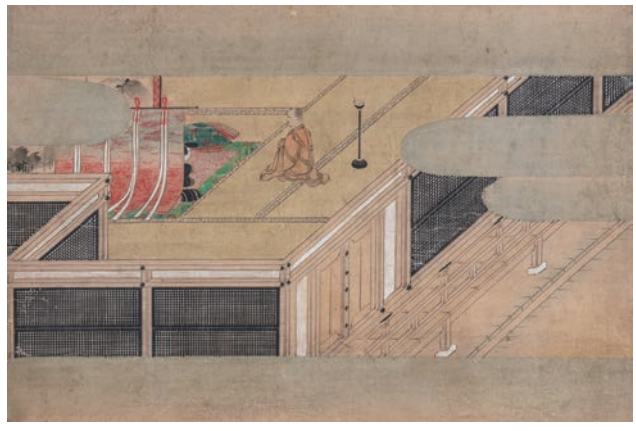
太子の前世は、中国で修行した徳の高い僧とされていました。その時に使用していた経典を、太子は自ら取りに行ったと伝えられますが、まさにその経典とされるのが本作です。銀色の罫線が引かれる中に、通常よりも小さな字で、経文が丁寧に筆写されています。この１巻で、法華経８巻分を収めています。

太子は仏教の導入に積極的でしたが、その視線の先には、大陸の大国・隋の仏教がありました。本作は、隋の都長安の周辺で制作された堂々たる菩薩像です。黄花石（こうかせき）という石材を使用してあり、ほのかに黄白色の光を放つような不思議な質感です。

4 菩薩立像（中国 隋時代　6 ～ 7 世紀）
香雪美術館

２つめのものがたり　作品の来歴

太子信仰を支えに現在まで伝えられた作品の来歴を追跡。



5 聖徳太子絵伝断簡（南北朝時代 14 世紀）香雪美術館

もとは長大な絵巻の４場面を切り取り、それを台紙に貼付けて１巻としています。稀少な絵巻の聖徳太子絵伝の一点。同じ絵巻から切断されたと思しき断簡が、世界のあちこちに所蔵されており、本展ではその一部を紹介いたします。絵巻切断の背景にはどんなエピソードがあったのでしょうか。

代々絵師をつとめた住吉家には、やまと絵作品の優品が収集されていました。本作もその一点ですが、この他にも聖徳太子絵伝を収蔵していたようです。
淡く爽やかな色づかいに見られる温雅な画風は、他の太子絵伝とは異なる特色です。

6 聖徳太子絵伝　住吉家伝来
（南北朝時代 14世紀）
東京国立博物館
展示期間：11 月 25 日～ 12 月 13 日
Image：TNM Image Archives

３つめのものがたり　作品の修理

現在のわたしたちが未来へとつなぐものがたりに思いを巡らせてみます。

⑦ 重要文化財　聖徳太子像
（鎌倉時代 13 ～ 14世紀）香雪美術館
展示期間：10月31日～11月15日
12月１日～12月13日

修理後の生まれ変わった姿を初公開します。成人前の美しい聖徳太子が描かれています。画面のすみずみまで細かい描写がなされ、濃密な空気をかもす作品です。太子背後の屏風の見ごたえある水墨山水図、趣向を凝らした彩色表現などをお楽しみください。

⑧ 聖徳太子絵伝（鎌倉～南北朝時代 14世紀）香雪美術館

村山コレクションの新出作品です。往時の火災によって損傷がひどかったため、全面的な修理を行い、画面が甦りました。実に多くの発見がありましたので、その成果を報告します。

主な出展作品

1 聖徳太子像（鎌倉時代 13 世紀）香雪美術館

2 重要文化財　聖徳太子絵伝（鎌倉時代 14世紀）茨城 上宮寺　この場面は12月1日～12月13日
写真提供：茨城県立歴史館

3 重要文化財　細字法華経（平安時代 11 世紀）大阪 四天王寺

4 菩薩立像（中国 隋時代 6 ～ 7 世紀）香雪美術館

5 聖徳太子絵伝断簡（南北朝時代 14 世紀）香雪美術館

6 聖徳太子絵伝　住吉家伝来（南北朝時代 14世紀）東京国立博物館　この幅は11月25 日～12月13日
Image：TNM Image Archives

7 重要文化財　聖徳太子像（鎌倉時代 13 ～ 14世紀）香雪美術館　10月31日～11月15日、12月1日～12月13日

8 聖徳太子絵伝（鎌倉～南北朝時代 14世紀）香雪美術館

※ご使用の際は展示期間・所蔵元・クレジットの表記をお願いします。

修理を経て ここに注目!

聖徳太子像の水墨山水図

画面の汚れがクリーニングされ、すみずみまで精緻な描写が堪能できるようになりました。とりわけよく見えるようになったのが、太子の背後に描かれた水墨山水図です。

重要文化財　聖徳太子像

崖にぶらさがる手長猿（猿猴）、水辺の牛と牧童など、細かなところまで手抜きはありません。絵の中に描かれた「画中画」ですが、鎌倉時代にさかのぼる本格的な水墨画として貴重です。

聖徳太子絵伝の墨書

掛軸を解体してみると、軸木や裏打紙（うらうちがみ）に古い墨書が発見されました。漢数字が書かれており、伝記の最後の場面が描かれる一幅には「九」の数字がありました。この絵伝がかつては九幅で１セットだったことが確かめられました。そして、その連れとなる５幅が現在はボストン美術館に所蔵されていることも判明。いつかの再会を楽しみにしつつ。

軸木の墨書

修理の様子

裏打紙の墨書

開催概要

会　　期　2020 年 10 月 31 日（土）～ 12 月 13 日（日）
※期間中展示替えがあります。

休 館 日　月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

開館時間　午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

料　　金　一般 1,200（1,000）円、高大生 700（500）円、小中生 400（200）円

＊（ ）内は前売り、20 名以上の団体料金

＊前売り券は 10 月 30 日まで香雪美術館（御影本館）、中之島香雪美術館、
フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、
コンビニエンスストア（Pコード：685-353　Lコード：52207）で販売しています。

主　　催　公益財団法人 香雪美術館、文化庁、独立行政法人　日本芸術文化振興会

助　　成　公益財団法人 ポーラ美術振興財団

協　　力　株式会社 岡墨光堂、株式会社 松鶴堂

会　　場　中之島香雪美術館
530-0005　大阪府大阪市北区中之島 3-2-4　フェスティバルタワー・ウエスト 4 階
TEL 06-6210-3766　FAX 06-6210-4190
https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/
Twitter@kosetsu_museum

夜間特別開館　2020 年 11 月 12 日（木）、12 月 3 日（木）　～ 19 時 30 分（入館は 19 時まで）

講 演 会 1

三経義疏（さんぎょうぎしょ）から浮かびあがる聖徳太子の人間像
講師：石井（いしい） 公成（こうせい）さん（駒沢大学教授）
日時：2020 年 11 月 14 日（土）
14 時～ 15 時 30 分（受付開始 13 時 30 分）

講 演 会 2

聖徳太子信仰の場と太子絵伝の制作
講師：米倉（よねくら） 迪夫（みちお）さん
（東京文化財研究所名誉研究員）
日時：2020 年 11 月 28 日（土）
14 時～ 15 時 30 分（受付開始 13 時 30 分）

【会　場】　中之島香雪美術館
【参加料】　500 円（展覧会観覧には別途入館料が必要）
【定　員】　73 名（予定）
【応募開始】　8 月 1 日（土）
【応募方法】

メール　1 通で 2 名様まで応募可能。講演会番号（1 または 2）、参加希望人数、それぞれの住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号を明記の上、右記アドレス宛にお申し込みください。E-mail：n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp

往復ハガキ　1 枚で 2 名様まで応募可能。講演会番号（1 または 2）、参加希望人数、それぞれの住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号を明記の上、郵送でご応募ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。
※講演会 1、講演会 2 の両方に参加ご希望の方はそれぞれの講演会ごとに往復ハガキをお送りください。
【宛先】〒530-0005　大阪市北区中之島 3-2-4　中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階
中之島香雪美術館「聖徳太子」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

（西暦）　　年　　月　　日

取材について

取材者	フリガナ 会社名 住所　〒 E-mail	フリガナ 担当者名（連絡者） TEL FAX 取材人数　　名
取材希望日時	（西暦）　年　月　日　時　分　～　時　分	
媒体	種別　□テレビ　□ラジオ　□新聞　□雑誌　□その他（　　） 番組名・コーナー名	
放送・発行日等	（西暦）　年　月　日　時　分　～　時　分	
取材の範囲	撮影　□す　る　（撮影機材　□スチール　□ENG　□DVC） □しない	
備考 特に取材したい場所・内容等		

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作品画像		中之島香雪美術館 館内画像	

注意事項

- 企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
- 原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
- 画像の名称（作品名）、指定、展示期間、所蔵元、クレジット（ある場合）を記載してください。
- サイズは、（web 掲載用）長辺 1000px　100dpi　（紙媒体用）長辺 1000px　300dpi　まで。
- ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長 6 ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」　広報担当
TEL 06-6210-3766　FAX 06-6210-4190　Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4　中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階